



「デジャブとブジャデと本」

学術研究情報センター長補佐 奥田隆史

博士論文をまとめる頃、恩師は、私の関心事に合わせて、実は深い内容を簡単に“博士になるのであれば、研究の学術的価値を追求するだけではなく、難しいことを簡単に話すことができるように、そして複雑な問題の解決策を多面的に考えることができるような方法論も身につけるようにしなさい。その力は、例えば「君はプロ野球のGチームをなぜ応援するのか？」という質問に対して、感情的にならずに理路整然と論理的に答えることができるかどうかで確かめることができる”と話してくれた。

この深い話は、寺田寅彦の言葉を借りれば、“「科学者になるには『あたま』が良くなくてはいけない」・・・しかし、一方でまた「科学者はあたまが悪くなくてはいけない」という命題も、ある意味ではやはり本当である・・・。”（寺田寅彦、『科学者とあたま』、青空文庫）ということであったのであろう。ボスニア・ヘルツェゴビナをワールドカップブラジル大会へと導いた元日本代表監督イビチャ・オシムの哲学的表現を借りるならば、“アイデアのない人間もサッカーはできるが、サッカー選手にはなれない”（木村元彦、『オシムの言葉 増補改訂版』、文藝春秋、2014）ということに該当したであろう。所ジョージの語録を引くなら、“皆さあ、自分が賢いとか、できる人間だとか思っちゃダメだよ。私も含めて、皆バカなんだから早くバカに気付かないとバカだってわかれば人間慎重になるから！”ということだろうか。

今考えると恩師は、実は“デジャブ（deja vue、既視感）”とそれと対極の造語“ブジャデ”の両方の感覚を大切にしろと教えてくれたような気がしている。なお、前者は初めて見る景色なのに「この景色、どっかで見たことがある」、後者は「何回も見ているのに、初めてのように新鮮に感じること」や「見慣れたものを初めて見るように見直す。そして既成観念に囚われずに新しいことを再発見する」というような感覚である。読書していると“デジャブ”的な感覚にも、（特に昔読んだ本を改めて読み返すと）“ブジャデ”的な感覚にも出会えるような気がする。

さて、世の中はちょっとしたメモすら頭で整理しながら手帳に書いたりして“取る”のではなく、頭を全く使わずスマホを操作して“撮る”時代に変わりつつある。こんな時代だからこそ、“デジャブ”や“ブジャデ”に出会うためにも、頭を使うためにも、あえて読書という行為を今まで以上に大切にしたいと考えている。

「もっといいレポートを書きたいあなたに贈る情報探索講座」を開催します



★初級「レポートの達人」

【内容】 講義 DVD 上映＋文献の探し方など
実習 CiNii などのデータベースの検索の仕方など

【日程】 第1回 11月11日(火) 13時～14時
第2回 11月12日(水) 13時～14時
第3回 11月13日(木) 13時～14時

【定員】 各回 40名(先着順)

【会場】 C棟 2階端末室 2

★上級「データベースの達人」

【内容】 講義 県大図書館で利用できる主要データベースの紹介
実習 講義で紹介したデータベースの検索の仕方など

【日程】 <外語編>

第1回 11月 5日(水) 13時～14時30分
第2回 11月26日(水) 13時～14時30分

<日文・教福・情報編>

第1回 11月19日(水) 13時～14時

【定員】 各回 10名、外語編は 30名(先着順)

【会場】 図書館会議室(実習は図書館パソコン室)

外語編は C棟 2階端末室 2

【申込方法】 図書館カウンターで申込用紙に記入ください。

または、参加希望回、所属学科(専攻)、学年、氏名を書いて、
etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp までメールでお申し込みください。

*クラス・ゼミ単位でのお申し込みはご相談に応じます。

■学部 3 年生の方へ 「書庫に入庫ができます」

今年度より 3 年生も前期から地下書庫への入庫が可能になりました。是非ご利用ください！

〈入庫の方法〉

- ①カウンターで学生証を提示してください。入庫証である番号札を渡します。
 - ②書庫に入り資料を探します。(MB階：雑誌 B1階：図書)
 - ③書庫から出た時に番号札をお返してください。
- ★書庫から資料を持ち出す場合、カウンターで手続きをお願いします。
- ★書庫の中で資料利用が終わった場合、書架横および書庫出入り口横の返本台へ資料を置いてください。

■展示「スペイン語の辞書の歴史」を開催中です

日時 10月1日(水)～10月28日(火)

会場 図書館 1階フロア



中世～現代までのスペイン語辞書を展示します。

現代ヨーロッパ語の中でも他の言語に先駆けて作成・印刷されたという、奥深いスペイン語辞書の歴史に触れてみませんか。

- 図書館では 11 月以降にも様々な展示企画を予定しています。どうぞご期待ください！

■リベラルアーツコーナーが充実しました！

1階リベラルアーツコーナーに旧共同図書環資料の一部が復活しました。その他、教員の推薦・参考図書や、レポート・論文作成に役立つ資料など教養を身につける資料を設置しています。ぜひご利用ください！

■寄贈いただきました、先生方の本を紹介します 2014年3月～9月

大野誠編 『「イギリスの社会・歴史」に関する研究報告 第1号』

大野誠編 2013 [302.33/O67/1]

大野誠編 『「イギリスの社会・歴史」に関する研究報告 第2号』

大野誠編 2014 [302.33/O67/2]

清原みさ子著 『手技の歴史：フレーベルの「恩物」と「作業」の受容と、その後の理論的、実践的展開』 新読書社 2014 [376.121/Ki85]

與那覇潤著 『中国化する日本：日中「文明の衝突」一千年史 増補版』

文芸春秋 2014 [210.182/Y82]

「文字のチカラ展」実行委員会編 『文字のチカラ：古代東海の文字世界』

「文字のチカラ展」実行委員会 2014 [210.3/Mo19]



開館カレンダー (開館時間等を変更することがあります。最新カレンダーはホームページ等でご確認ください。)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

□ 9:00～21:20

■ 9:00～17:00

■ 休館

愛知県立大学 学術研究情報センター 長久手キャンパス図書館
 TEL:0561-76-8841 E-mail etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp
<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/>